

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



福中分教会

昭和10年12月3日 設立

昭和37年8月29日 移転建築奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步！

*初席者一名以上

*百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教182年
10月号

布教推進講習会開催

布教部

布教部(田中隆之部長)は9月21日、富松基成先生(本部准員、学生担当委員学生会部部长)を講師に迎え、大教会9月月次祭後に布教推進講習会を開催。役員・部内教会長・よふぼく・信者ら多数が受講した。講話要旨は次の通り。

9月は、にをいがけ強調月間です。皆様方も勇んでお励みのことと存じます。



ご講演の富松先生

「信仰をしても身上・事情と現れてくるのは何でやろう?」「何で私が?」と思うことがあります。それは身上・事情に込められた親神様の親心を悟れないからだと思うのです。一見喜べない事の中に、静かに思案すれば親神様の親心を悟らせて頂けるとき素直に喜ばせてもらうことが出来るのです。例えば子どもがボールで遊んでいる。母親が我が子の手を急にひっぱる。「どうして?」と思う時にトラックが走り抜ける…。身上・事情も親神様が現して下さってお導き下さるのです。私達の信仰実践はご恩報じの心を育てなければなりません。おつとめ・にをいがけ・ひのきしん。これは全てご恩報じであります。身の内のご恩を深く思えば親神様のご守護・お守りに気づくことがまず大事です。大恩を忘れて小恩を送るようではいけません。目が見えるようになった! 歩けるようになった! は、元の身体に戻ったという事で、これは当たり前前時に不思議なご守護を得ていることです。残念ながらそのことに気付かないでいる人がたくさん居るのです。反対に神様のお陰だなあとわかつている人も多いと思います。しかし神様のお陰に対して

具体的な御礼の行いに結びついていかないのではないかと思います。このお道の信仰は実践の中にこそ有るので、ひのきしんとは親神様に対して感謝の気持ちを行動に現すことです。私は現在、災害救援ひのきしん隊の御用をさせてもらっています。8年前、東日本大震災に出勤しました。その時、小学校の側溝、プールの土砂の除去に従事しました。隣で作業する方はその小学校の校長先生でした。5月半ばの除去は遅いのではないかと尋ねますと、ボランティアを頼むにもやはり小学校なので誰にでも頼むということが出来なかったとのことで、また今回、災害救援ひのきしん隊に依頼したのは、校長先生が住んでいる近くの公園で、毎日掃除している人が居て、話しを聞くと「天理教のひのきしんです」と言われたそうです。素晴らしい行いの姿をぜひ小学校の生徒達に見せてやりたいと思われたとのことでした。私はこの話しを聞いてこう思いました。ひのきしんは、正に希望の光です。ひのきしんの精神が一人また一人と増えていくと素晴らしい世の中が見えてくるのです。一波が万波を呼びます。ひのきしんとボランティアの違い。それ

は、ひのきしんは周りの人達に影響を与えるのです。みかぐらうたに「ひとことはなしはひのきしん」と唄われています。先人はにをいがけに行くことをご恩報じと言っておられました。ひのきしんの心が万波を呼んで、やがていつかは陽気暮らしの世になるのではと願っています。にをいがけは、自分の匂いではなく教祖の匂い、お道の匂いを掛けるのです。そのためには日頃の理づくり、徳積みが欠かせないと私は思います。伏せ込みのない人にはにをいがけが出来ないとも思うのです。にをいがけは恥ずかしい、人に会うのは怖い、楽しくない、100軒廻れば100軒、200軒廻れば200軒断られる…。また路傍講演、神名流しは信仰を知らない人からは「ようあんなことをするなあ」「近づかんとこ」と思われているのかもしれない。しかしその行いは親神様・教祖にお喜びいただいていると信じているのです。そして、おたすけの機会が与えられた時に路傍講演、にをいがけの経験が全て生きてくるのです。一軒、一軒頭を下げて通る低い心、それまでの断られた経験が生きてくるのです。いざと

いよときの伏せ込みの理づくりとなり
ます。一見、無駄と考えることも全て
意味の有ることなのです。

私が大学生の時、参加した学修で、
班の目標を「誰か一人でもおさづけを
取り次ぐ」と決めましたが、神名流
し・路傍講演の後、目標が達成できな
いままに戸別訪問を終え、集合しまし
た。意気消沈の中、ベンチに座ってい
た老婦人にカウンセラーが話しかけ、
おさづけを取り次ぐことが出来まし
た。その喜びで、電車ではなく、歩い
て戸別訪問しながら帰参しようと勇み
立ちました。結果、全員がおさづけを
取り次げ、神殿で感激の御礼づとめと
なりました。

2代真柱様は、このお道の信仰は底
なしの信仰と教えられ、例え親切にさ
れてもそれを感じない人にも底なしの
心を持って人に尽くすことを教えられ
ました。

櫻井大教会の元とられた富松先生
の未信の時の話しです。商売絶頂期の
時の信条は「人間は努力をせずに神に
すがって望みをかなえてもらおうと思
うのは卑怯である。知恵と努力を傾け
るならば必ず目的は達せられる。信仰
は生活の一部であって生活全てが信仰

であってはならない」とのことでした。
そして信仰は何処吹く風と通って居ら
れましたが、義理の兄、兄嫁とコレラ
で相次いで亡くなり、抑えようのない
不安感に襲われ、数日前に聞かされた
庄屋敷村の生き神様にすがりたいとの
事から信仰の道が始まったと話されま
した。

最後に「まいたる種はみな生える」
とお聞かせ頂くように、声をかけ続け
ることが大事と話され、「勇気と根気
をもってご恩報じ一条につとめさせて
頂きましょう」と結ばれた。



偶然は必然

直轄 岡本善一

父の出直しを期に修養科でお世話に
成る事となりました。おぢばへ長期滞
在させて頂いたのは約30年ぶり、全て
において一から学ばせて頂く気持ちで
3ヶ月間通らせて頂きました。
私を含む7名での詰所生活でまず驚

いたのは、ほぼ全てのメンバーが私と
何かしら繋がっている事でした。親戚
や友人の子又私の父が教養掛の際に修
養科生だった人を父親に持つ子、「何
かの縁か？」と思いつつ修養科に入ら
せて頂きましたが、次々に驚かされま
した。

担任の先生は、私が教校附属高校の
2年生の時の寮の幹事でしたし、先生
の中には1年生の時3年生だった先輩
もいました。私は同校を2年の秋で中
退しておりますので、これは親神様か
らの粋な計らいだ、いんねんで引き寄
せて頂き、何かを得て帰りたいと親
神様が言つて下さっているように思っ
ました。全て神様が引き寄せてくだ
さったメンバー。偶然で無く必然で
あったと、親神様教祖に感謝していま
す。

「修養科は必然である。」ありがとう
ございました。

目ざすこと

福芦分教会 掛江 進

夏一番あつい3ヶ月でした。3
ヶ月過ぎた今思い起すと、いろいろな
人とめぐり会えた事が自分を考えなお

す一番の事かと思えます。

詰所の畠を耕しながら苗代の理を思
い起し、深く掘り起せば良質の苗
代が出来て、すばらしい野菜が出来る。
しかし種の理の男に問題が有った場
合、良い子供が出来るのだろうか？
男の先祖に悪いいんねんが有った場
合、良い子供が生れるのか？ 神にと
うお願いすれば良いのか？ 男の親が
生きてる場合、親がどうすれば良い
いんねんの子供が生れるのか？

いんねんを切るのはどうしたら良い
のか？ 私の場合、今迄の考え方を
変えて、陽気ぐらしの方法を考えて、今
後、毎日くを神の教え通り、いんね
んを切る様、いまからの生活を変えて、
親神様の言われる通りに生き、15才を
目ざして人助け一条に通りたいと思
います。

僕の修養科

稲瀬分教会 三宅 理人

僕は今年、2回目の修養科に来まし
た。理由は。去年の反省です。
去年の修養科の通り方は今思うと相
当ひどかったです。朝もろくに起きず、
皆と違うことをしたり、先生や回りの

人に多大な迷惑をかけていました。それを、反省するために今年も去年と同じ時期に來させて頂きました。今年も去年とは違い、朝も起きて授業やひのきしんをしつかりさせて頂きました。真面目にした方がとても楽しかったです。今年も去年の反省をしつかりさせて頂きました。

この調子で教人資格講習会も頑張ります。

天理教

雲東分教会 中村 康太郎

この度、自分の身上から修養科へ來ることになり、天理教を学ぶうちに、今まで人生の中で身上になるまでに変わるタイミングが色々な所にあつたのに気付かずに見過ごしている事に気が付きました。修養科に來て一つの事に「これは何の意味合いがあるのだろうか」など考え、その事に対してどう行つていこうなどと考え、この事についてどう行つていこうと思う。自分の都合のよい方に動くのではなく相手に喜んで受け取ってもらえるような自己中心ではなく相手を思う行動が出来るようになってきたと思います。天理教の

教えはどう話せばきちんと伝わるか難しいですが、これから元の生活に戻つてから良い意味で価値観を変えさせてもらえた教えだったと思つています。そして妻と娘と一緒に3ヶ月を過ごし、3人でいる事の喜び、今までの迷惑かけたことを繰り返さないためにどうしていか、自分はどうしようか、家族として何をしようかをゆつくりと自分で考える時間、夫婦で考える時間がありました。娘への想いも強くなり、修養科中の苦しい時などに笑顔や抱きしめてくれる時に助けてもらいました。この気持ちを忘れないよう、毎日おつとめをし、気持ちを途切れさせないように過ごしていこうと思えます。修養科に來れた事は、最初は変わる自信がなかったですが、先生方から色々話してくださる中から教わった事が過ぎていく内にこういう事かと理解が出来、成長につながりました。教会長様方、先生方、修養科で出会えた人達のお陰で成長できました。本當に來て良かったです。ありがとうございました。

さあ、修養科へ

上下分教会 山野 ちさと

6月25日、今までこんなにおちばへ帰ることに緊張したことはなく、不安と共にこれからの修養科生活に期待をもちながら詰所へ荷物を下ろしたのを覚えています。この3カ月は、あつという間に時間が経ち、たくさんの方に囲まれ、明るく陽気に通らせて頂きました。

色々な方に「一番組係がクラスの雰囲気をつくる」などと聞きましたが、まさか私がその一番組係。不安は更につのり、大丈夫かなと思つていました。2番・3番組係、そして先生方のお陰で明るく陽気な、笑いの絶えないクラスとなり、修養科へ行くのが楽しみで仕方ありませんでした。そんな楽しい修養科生活でも喜べないことも多々あり、不足に思つてしまうこともありました。ある時は、私達笠岡の修養科生女子3人で思い悩み、考えても中々腑に落ちず、夜3人で十二下りをして、遅くまで語り合つたこともありました。そんな時、教えて頂いたことが、どんな中でも良い種・喜びの種を見つけること。そして、真っ白な心で通ること。陽気で通るといふのは、た

ただ楽しいだけではないことに気付きました。どんな中でも喜びの心をもって、親神様・教祖にお喜び頂き、ご満足して頂けるように、そして人のために尽くす喜びと、人のたすかりを願うことの大切さを改めて感じました。この修養科だからこそ感じられることも多々ありますが、終わつてからがスタートです。どんな中でも喜んで通ることはすごく難しいかもしれませんが、それでも少しずつ喜びの種を見つけ、親神様・教祖と向き合い、一よふぼくとしてなるほどの人になれるよう、しつかり通らせて頂きます。

3ヶ月間、無事に通らせて頂きました。親神様・教祖、そして共に修養科生活を送つてくださった先生方、送り出してくださった教会の方々。本當にありがとうございました。

天理教だからこそ

Witness

上下分教会 日南住 彩

私の家は天理教の信者で、小さい頃から月次祭やこどもおちばがえりなどに参加していました。しかし、教理を学んだことなく、修養科の授業はしら

ないことだらけでした。その中で、おつとめ、おさづけの大切さを学びました。先生が「誰かが病気になる時、

私たちは十二下りのおつとめをし、おさづけを取り次ぐことができる。これはようぼくだからこそできることだよ。」と話されていました。私は感謝の気持ちや周りの人の助かりを願いながら日々おつとめをしていましたが、「おねがいづとめ」として時間を作って行くことはなく、十二下りも見て何となく踊れる程度でした。さらにおさづけを取り次ぐこともなく毎日を過ごしていました。修養科中、嫁ぎ先のお母さんが足の手術をする予定となっていました。手術の日、みなでおねがいづとめをさせていたきたいと思

い、天理と広島それぞれの場所です。時刻に行いました。場所は違っても同じ空の下、同じ思いでつとめさせていだいたことにすごく胸が熱くなりました。手術は無事に終わり、ご守護をいただいたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。おつとめの大切さ、尊さを感じました。そして痛みやしんどさがある時、おさづけを取り次ぎたいと自然と思えるようになりました。修養科生同士でもおさづけを取り次ぎ

合い心も身体もほっと安らぎ親神様・教祖がご守護くださっているのを感じました。

教典の授業で陽気ぐらしは人を助けさせていただく中で味あわれると話されていました。身上・事情に悩む人には何が出来るだろうといつも考えておりましたが、これからは自信を持っておつとめ・おさづけをさせていたきたいです。

修養科を無事に終えることができ、関わってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

修養科を終えて

雲東分教会 中村 こはる

修養科が始まる日、子どもを連れての修養科は不安ばかりでした。他の人の迷惑にならないようにすることに一所懸命で、辛くなっていました。みんながとても優しく、色々なことに喜んで手伝ってくれ、本当に助けられました。人を頼っても良い雰囲気になんて3ヶ月間を過ごすことができました。修養科のクラスはみんな年齢も国籍もバラバラでしたが、とても明るく、

楽しいクラスでした。夏の暑さ、朝の早さで大変な時季でこどもおちばがえりもある大変な3ヶ月、みんな何事にも笑顔で、周りを気遣いながら楽しんで過ごしていました。私もそんなクラス仲間と一緒に過ごした3ヶ月はとても楽しく、あつという間で、終わるのが寂しいほどです。このクラスで一緒に考え悩みを共有し、泣いたり笑ったりして過ごしたことで、沢山学び、成長させて頂けたのではないかと思います。

この3ヶ月で考え方が大きく変わっていくのを身近に感じられました。それと同時に夫婦のこともすっかり話し合うことができました。夫婦で来させて頂けたことにも、大きな意味があったのではないかと思います。この3ヶ月で、どんなことにも楽しむ心、喜びを見つけることを教えて頂きました。いんねんを切るには、どんな事情や身上もたんのうすることが大切だということも教えて頂いたので修養科を終えた後も、どんなことも喜んで、楽しんで通っていききたいと思えます。そして「夫婦仲良く」も大切にしていきたいです。三ヶ月間、本当に有り難うございました。

楽しいクラスでした。夏の暑さ、朝の早さで大変な時季でこどもおちばがえりもある大変な3ヶ月、みんな何事にも笑顔で、周りを気遣いながら楽しんで過ごしていました。私もそんなクラス仲間と一緒に過ごした3ヶ月はとても楽しく、あつという間で、終わるのが寂しいほどです。このクラスで一緒に考え悩みを共有し、泣いたり笑ったりして過ごしたことで、沢山学び、成長させて頂けたのではないかと思います。

教会おとまり会の報告

▼福満隊

実施日 元年7月20日～21日

参加者数 少年会員12 育成会員14 計26

プログラム おつとめ、おはなし、ひのきしん、ゲーム、おてふり練習、

おやつ、海水浴、そうめん流し、花火。

感想・反省 天気は左右されるので心配しておりましたが予定通り運ぶことが出来嬉しく思っています。

▼福富士隊

実施日 元年8月6日～7日

参加者数 少年会員2 育成会員3 計5

プログラム おつとめ、おはなし、ひのきしん

感想・反省 続ける事が大切と思うが中になつて来た。

▼福東隊

実施日 元年8月9日～10日

参加者数 少年会員19 育成会員10 計29

九月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心一杯の御守護により日々は結構に恙なく暮らさせて頂いております 特に今はあれほど暑かった気候もやつと朝晩涼しくなり 昼は蝉の声で暑さが増しますが夜は虫の音に癒やされて ようやくに秋の気配を感じられ過ぎしやすくなりました事は誠に嬉しく有難く思わせて頂いております そんな喜び感謝の心を抱きつつ私共は陽気ぐらし建設のようぼくと自覚の元「せかいどうたがいにたすけするならば 月日も心みなひきうける」とのお言葉を胸に にをいがけ強調月間の時旬も相まつて「陽気ぐらしを目指してたすけの輪を広げよう」を実現すべく にをいがけおたすけに励ませて頂いております

その中本日は これの笠岡大教会の九月の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝とたすけ心一杯に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて九月の月次祭を執り行わせて頂きます 又御前には今日の日の楽しみを寄り集いました道の子供達が 同じ思いに伏し拝み尚も変わらぬ親心にお縋りする状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませようお願い申し上げます

さて本日は布教推進講習会を開催させて頂きます 本部布教部より富松基成先生もとなりにお越し頂いてお話を聞かせて頂き 経済尊重・個々の自由主義の現代だからこそ助け合いが必要であり その為に一人一人のたすけ心を人に写して行くべく にをいがけおたすけに邁進する事の大切さを心に修めさせて頂く所存でございます そして月末の全教一斉にをいがけデーには互いに誘い合わせていつもにも増してにをいがけに励ませて頂く覚悟でございます 加えて十一月二十三日の別席ひのきしん団参には一人でも多くの人をおちばに連れ帰り 皆の喜び感謝の心一杯に勇む姿をご覧頂きたいと思えます 又来月は大祭月でございますので直轄教会へ大祭参拝をさせて頂きます 立教の元一日に合わせ 夫々の信仰の元一日に想いを馳せ 親神様の世界一列助けたいとの思いを受け止めた初代の御恩報じの思いが確実に現在まで続いているか確認し 末代掛けての御恩報じに徹して行きたいと存じます

何卒親神様には 霊祭月に当たり先人達に想いを馳せると共に先人達の思いを受け継ぎ 届かぬながらもご恩報じを念じてたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚一層自由の御守護を賜り 親神様の御守護の世界である事に気付き共にご恩報じをする人が増して 万互いが助け合う陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

プログラム おつとめ、おはなし、ひのきしん、おやつ、プール(9日午

前中)

感想・反省 ケガもなく無事に過ごす事が出来、有り難かったです。来年のおちばがえり参加へ一年かけて丹精

させて頂きます。

▼福昭隊

実施日 元年8月10日～11日

参加者数 少年会員5 育成会員3 計8
プログラム おつとめ、おはなし、ひのきしん。

▼福節隊

実施日 元年8月16日～17日

参加者数 少年会員4 育成会員2 計6
プログラム おつとめ、おはなし、ひのきしん、ゲーム、おやつ、こどもおちばがえりのビデオ。

感想・反省 今まででは子供会でしたが、初めておとまり会をしました。神様のおはなしやおつとめも真剣に取りくんでしました。

立教百八十二年 九月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割 区分	講話	祭主	扨者	
									吉岡	大教会	田中	虫明	中村	上原	大教会						浅野
武内正美	上原順子	佐藤香苗	中村義太郎	上原志郎	岡崎真一	谷内伸自	上原浩	中村道徳	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	浅野明教	森本忠善	佐藤道孝	大教会長様	岡崎真一	吉岡誠一郎	
谷内美知子	高木孝子	笹尾一美	虫明立生	山田敏教	高木昭祥	杉原博之	渡邊隆夫	内海史郎	中村初美	岡崎豊子	内海安子	横山逸郎	三島涉	中村剛	上原繁次	武内清明	山野弘実	指図方	贊者	十一月講話	
三島照美	田中つかさ	門脇加津	赤木素志	岡崎真一	上原志郎	岡田誠	三代温生	浅野明教	岡崎和美	室悦子	横山小智榮	吉岡誠一郎	今川昌彦	田中隆之	田林久嗣	中島誠治	門脇元教	海外伝道講習会	赤木素志	渡邊隆夫	佐藤道孝

立教百八十二年 秋季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割 区分	講話	祭主	扨者	
									中村	上原	大教会	高木	山野	上原	中村						大教会
田中つかさ	内海安子	佐藤香苗	田中隆之	今川昌彦	吉岡誠一郎	山野弘実	中島誠治	上原浩	山野なつ	高木孝子	大教会奥様	中村剛	上原繁道	大教会長様	田林久嗣	森本忠善	門脇元教	大教会長様	横山逸郎	上原志郎	
吉岡八恵	宮本正子	藤本イッエ	森川道弘	山田敏教	虫明立生	中村剛史	岡田誠	枝廣隆文	村川久美子	岡崎和美	谷内美知子	猪原啓介	三代信行	武内清明	佐藤真孝	瀬藤友昭	中村道徳	海外伝道講習会	浅野明教	上原繁次	上原繁道

「一手一つの集い」
健康感謝祭 開催

福山分教会

福山分教会(田中隆之会長)は9月23日、「一手一つの集い」健康感謝祭を開催した。昨年に続き、2年連続の開催となった「一手一つの集い」であるが、直轄・部内20箇所の同教会に繋がるよふぼく信者・少年会員等が参集し、14交代でおつとめを勤めた後、今年は隣接する桜ヶ丘小学校の体育館に会場を移し、健康感謝祭と名を打ってミニ運動会を行った。



若年層による真剣なまなびを見守る先達

当日は、大型の台風17号の影響が懸

念されたが、早朝、山陰沖を通過した後は次第に好天となり、心地良い風が吹き抜ける最良の日となった。そんな中、午前8時30分受付を開始し、老若男女約250人が参集した。

午前9時30分、親神様、教祖、御霊様を礼拝の後、田中会長はおつとめに先立って、台風の進路にあたる地域でも大きな災害とならないことを願っておつとめを勤めるよう、皆に促しておつとめを開始した。坐りづとめを福山分教会のおつとめ奉仕人で勤め、よろづよ八首を少年会員・学生会員が、一つの鳴り物に複数名が付く形で勤めた。その後十二下りを部内教会が一下りづつ担当して勤めたが、その中には少年会員もおり、緊張の中にも一生懸命な姿が見られた。昨年の経験もあり、スムーズな交代・進行により、予定どおり午前11時30分終了した。

その後、あいさつに立った田中会長は、活動推進部を初め、準備を進めたスタッフの労をねぎらい、参加した皆の心寄せに礼を述べた後、「今日のおつとめは、親神様・教祖がお喜び下さると共に、福山の理に繋がる多くの先人、霊様がお喜び下さっていると思う。」と述べ、先人達の苦勞に思いを

馳せることを薦めた。又開催中のワールドカップラグビーを取り上げ、信仰を、ラグビーがボールを後へ後へと送りながら懸命に前進する姿になぞらえて、「親々がどんな中でも後へ後へと信仰を伝えて下さったお陰で、我々の今日がある。たすかる種を送って下さったと思う。今私達は、この種をこれから先の子々孫々へと送らなければならぬと思う。それには、日々の神様への感謝喜びの心が大事。又節を戴いても、立ち上がる心を伝えて行く事が大事と思う。」と述べた。その上で

「大教会記念祭への三年千日を歩むお互いは、自分に出来るにをいかけ・おたすけ、真実の種まきをさせて頂こう。小さな事からでも真実を心に置き、実行することが大切。〃100万件のにをいかけ〃も一言の声掛けから始まる。挨拶もにをいかけとなり、世を替える力ともなり得る。小さな事でも自信を持って実行させて頂こう!」と呼びかけた。最後に笠岡一斉活動日である今日の日に、受付で渡したにをいかけチラシを必ず誰かに渡すことをお願いして話を結んだ。

午前の部を終えた後昼食となり、おにぎり、即席うどん、お茶が配られた。



歳を忘れて玉入れに興じる参加者

昼食後は、それぞれ徒歩で5分程かけて隣接の小学校体育館に移動し、午後1時よりミニ運動会を開始した。初めに準備運動を兼ねたゲームが行われ、その中で紅組キャプテン竹本和道福芦分教会長、白組キャプテン福島大介福満分教会長のもと、参加者が紅白に分かれた。開会宣言、会長挨拶、競技説明の後、藤井保人福東分教会長の3世代家族が選手宣誓を行い、競技開始となった。競技は、玉入れ、パン食い競争、おたま移しリレー、風船破壊リレー、綱引きと行われ、いずれも子供からお年寄りまで夢中になって楽しめるものであった。競技出場者には順位

秋季 霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長に導かれ共にたすけ一条の艱難苦勞の道を歩まれた役員 部内教会長 教人 よぶぼく信者の神霊 諸々の神霊の前に 会長 上原理一慎んで申し上げます

祖霊様方には夫々に身上事情を通して早くからこのお道に引き寄せられ 教祖又先人より親神様の御守護について聞かれ 恩が重なっている事に気付き 我が身我が家のいんねん納消の上からご恩報じを念じてたすけ一条に邁進されました その歩みは決して楽な道ではありませんでしたが 心倒す事無くむしろこれでいんねんが切れると喜び勇んで艱難苦勞の中を通り切られました 今日お道も結構な姿をお見せ頂いておりますのも 親神様教祖のお導きはもちろん そうした祖霊様方の真実の伏せ込みの賜と日々は朝夕に御礼申し上げると共に思いを受け継いでたすけ一条のご用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の日々は定めた秋の霊祭の日でございますので 只今は親神様の御前にてをどりを陽気につとめさせて頂きましたので 引き続き御前に席を移し 事改めて御礼申し上げます 生前のお姿を偲び御遺徳を称えたいと存じます 親を慕い親孝心一筋の状をご覧下さいまして 祖霊様方にも御心お安め下さいますようお願い申し上げます

さて記念祭並びに奉告祭に向けて 三年千日と仕切つての成人の歩みも 早九ヶ月が過ぎようとしています 改めて振り返ってみますと信者が減った御供が減ったと嘆くばかりで肝心のをいがけおたすけに力が入っていないように思われます 何も無い中から始まった笠岡の道です 時代が変わったからと言っても陽気ぐらし実現を目指す人間の本质は変わっていません 先人達のように「成つて来るのが天の理」と全てを受け入れ 只目の前の苦しんでいる人を助けたい一心で歩んできた結果が現在の姿だと思ふ時 数を出す為に動くのではなく動いた結果が数に成るよう 動きに重きを置いてにをいがけおたすけに励ませて頂きたいと思ひます

何卒祖霊様方には 親を慕い思いを受け継ぎ親孝心一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠真実の姿をご覧下さいまして 皆の行く末が間違いなく陽気ぐらしの世の中になるようお見守りお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

ごとに景品が有り、又参加者全員にも景品が配られた。若手スタッフを中心に準備、リハーサルを重ね、迅速かつ細やかな競技進行により、約2時間終始和やかなうちに競技を終了した。参加者からは「今日は楽しかった。」との声が聞かれた。表彰式では紅組の勝利が発表され、又個人賞の表彰もあり、最後に、活動推進部長福島大介福満分教会長が挨拶に立ち、「健康に感謝して」全員で万歳三唱をして閉会した。
(福節分・藤井治喜)

大教会だより

◎教会指令 Ⅱ

◎任命願

多古浦 分教会

*前任 余村
*新任 余村 健元



余村 元氏

☆奉告祭 立教182年11月4日

立教182年9月26日承認

◎第九三九期修養科

自 立教182年7月1日
至 立教182年9月27日

*教 養 掛(主任、副主任)

一ヶ月目 横山逸郎

(大教会役員)

東城分教会長

副 竹本和道

(福芦分教会長)

二ヶ月目 佐藤真孝

(大教会准役員)

芳井分教会長

副 杉原善朗

(明石市分教会長)

三ヶ月目 谷内秀自

(輝美濃分教会長)

副 香取雅人

(川島郷分教会長)

*修了者

笠岡岡本善一

福芦掛江進

稲瀬三宅理人

雲東中村康太郎

上野山野ちさと

上野山野ちさと

雲東中村こはる

◎教人資格講習会修了者

(前期)立教182年10月1日終講

葦陽 笹尾孝治

(中期)立教182年10月6日終講

福山 田中旬

(全期)立教182年10月11日終講

稲瀬 三宅理人

大恵山 瀬藤彩香

◎教会長資格検定講習会修了者

立教182年10月17日終講

米府 三代拓己

◎本部食堂ひのきしん

自 立教182年10月1日

至 立教182年10月15日

福山 田中舞

◎立教182年秋季大祭参拝(一部11月)

福山 武内正美

高屋 上原繁道

神邊 上原繁道

島根 上原明道

久松 上原繁道

鶴山 中村剛

弥高山 上原明道

陽備 佐藤孝

摩耶村 中村剛

金浦 中村剛

興明 上原繁道

ひろさと 田中隆之

陶山 佐藤道孝

芳井 中村剛

吳照 上原繁道

海松ヶ岡 佐藤道孝

東悠 大教会奥様

吸江 大教会奥様

照陽 武内正美

輝美濃 大教会奥様

新山邑 佐藤道孝

皆部 門脇元教

明石市 上原明勇

上野市 大教会長様

府中市 上原明勇

東城 大教会奥様

服部 大教会長様

島中 門脇元教

驛家 門脇元教

油木 上原明勇

葦陽 田中隆之

湯田原 大教会長様

備中 大教会奥様

神昭 大教会長様

美之郷 武内正美

錦備 大教会長様

よろこびたいけど、喜べないこと。

プレミア付商品券引き換え券が、私たちの手元にとどきました。先月我が家に、市から受付の手紙が来るか来るかと気に掛けていましたが、ついこと届き、開封し住所、氏名諸々の確認を行いポストに投函しました。

あれから半月。ポストの中に、市からの封筒が我が家に届きました。やった!思いでした。2万円と2万5千の買い物が出るんです。それも二人分一万円の得。やっぱり私たちにとってうれしい事でした。しかし、内の奥様の言うことには「この商品券は元旦祭にかかります」とのこと、私事で使えないことが決定しました。考えてみれば、消費税値上げが始まったことで、保育料の無償化などに使われるそうです。この子供が大きくなって社会に出たとき、これ以上のお金を払っていく事になっていくのかな、と思うと、さすがに喜ぶことが出来ないなあと...。



(T・k)